



スクールレポート

SCHOOL REPORT 77

学校生活の
一コマを紹介

今回は、小学校での「ふるさとキャリア教育」と「スキー・スノーボード教室」の様子をご紹介します。

●学校教育課 ☎ 23局 3679

田原中部小学校 「ふるさとキャリア教育」

夢を抱く子 ～生き方を学び考える夢育活動の推進～

田原中部小では、「生活科」「総合的な学習の時間」「特別活動」を統合した『夢育活動』を教育課程に位置付けて、学習に取り組んでいます。「ふるさと田原」の自然や文化、伝統、防災、福祉などを素材として学習する中で、将来、社会へ出てたくましく生きていけるように、地域への愛着を高めたり、人としての生き方を考えたりする活動をしています。

6年生の「動き出せ！われら、未来の『夢WORKER』』という学習では、働くことがどんなことかを実感したいと考えた子どもたちが、市役所街づくり推進課や「あつまるタウン田原」、成章高校商業科が進めている「幸せの四つ葉プロジェクト」に参加しました。成章高校商業科の模擬子会社となって「幸せのミサンガ」の製作を行い、蔵王山展望祭りで販売しました。何度も作り直して、商品として販売できる品物を作り上げました。働くことの大変さを実感した子どもたちでしたが、瞬間に完売し、達成感も味わいました。こうした学習を通して、夢を抱く子どもが育つことを願い、今後も夢育活動に取り組んでいきたいと思ひます。



▲製作したミサンガを販売する子どもたち

中山小学校「スキー・スノーボード教室」

大自然の中、ウインタースポーツを満喫



▲スノーボードを習う子どもたち

中山小学校では、20年ほど前から毎年、5年生がスキー教室を実施しています。最近2年間は、子どもたちの希望を取り入れ、スノーボードも選択できるようにしています。長野県あらかぎ高原スキー場まで出かけ、2日間ウインタースポーツを楽しみます。子どもたちは、この2日間で、みるみるスキーやスノーボードの技術を向上させていきます。そして、田原市では体験できない、雪国ならではの貴重な体験をしてきます。

このスキー・スノーボード教室では、スポーツを体験するだけでなく、集団生活の中できまりを守る大切さを知ったり、「旅のしおり」を自分で確認して5分前行動を心がけたりします。また、世話をしてくださる旅館の方やインストラクターの方に感謝の気持ちを表すことも、大事な社会勉強となります。

現在、このようなスキー教室を実施している学校は少ないと思ひますが、中山小学校では価値のある活動としてとらえています。今後も、本校の特色ある行事として続けていきたいと考えています。



▲全員そろって記念写真